

市議会議長 副議長を選挙

川越市議会議長の辞職について
江田肇市議会議長より副議長あてに、市議会議長の辞職願が提出され、審議の結果、これを許可することに決定いたしました。

川越市議会議長選挙について

市議会議長の辞職が許可され、議長が欠員となったため、選挙を行った結果、次の議員が市議会議長に当選し、就任いたしました。

市議会議長 山口 肇

川越市議会副議長選挙について

中原秀久市議会副議長より議長あてに、市議会副議長の辞職願が提出され、審議の結果、こ

正・副議長の紹介



議長 山口 肇

山口議長は、平成七年に市議会議員に初当選し、今期が三期目。現在までに議会運営委員長、文教常任委員長などを歴任しています。



副議長 石川 隆二

石川副議長は、平成三年に市議会議員に初当選し、今期が四期目。現在までに総務常任委員長、監査委員などを歴任しています。

議会運営委員会

議会運営委員会の任期満了(任期一年)に伴い、第五日(六月六日)に委員の選任が行われ、第七日(六月八日)に同委員会を開催し、正・副委員長の互選が行われました。委員会の構成は次のとおりです。

委員長	松岡 秀仁
副委員長	加藤 昇
委員	片野 広隆
委員	若海 保
委員	佐藤 恵士
委員	小ノ澤 哲也
委員	稲浦 敏雄
委員	小林 康博
委員	高橋 賢一
委員	栗原 賢一

議席の一部変更

議席の一部変更について

市議会の議席の一部が次のように変更されました。

- 第五番 山口 肇
- (第二十八番から変更)
- 第二十八番 江田 肇
- (第五番から変更)

彩の国 さいたま人づくり 広域連合

彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について
原案可決

平成十七年四月一日をもって、秩父市、秩父郡吉田町、同郡大滝村及び同郡荒川村の区域をもって秩父市が設置されたこと、及び岩槻市がさいたま市に編入されたことにより、彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数が減少していることについて協議するため、議会の議決を求めたものです。

工事請負契約

川越市立月越小学校 改築工事を可決

工事請負契約

川越市立月越小学校改築工事請負契約について
原案可決

老朽化した施設、設備の充実と快適な教育環境を整え、教育活動の円滑化を図るため、川越市立月越小学校の改築工事を行うものです。

建物の構造は、鉄筋コンクリート造三階建て、延べ床面積六千百十・二四㎡です。
請負契約の内容は次のとおりです。

- 一、契約の方法
指名競争入札
- 二、契約の金額
十億一千三百二十五万円
- 三、契約の相手方
川木・三澤屋・西村特別
共同企業体
- 四、工期
本契約締結の日から平成十八年十一月十五日まで



改築前の月越小学校

議員提案の意見書一件を可決

今定例会第二十二日(六月二十三日)に、議員提案による意見書一件を原案可決し、関係機関に送付しました。

義務教育諸学校の事務職員並びに 学校栄養職員にかかる義務教育費 国庫負担制度の継続に関する意見書

原案可決

国は、昭和六十年年度予算編成から義務教育諸学校の事務職員、学校栄養職員の給与費に対する国庫負担の廃止を二十一年間にわたり検討してきている。

よって政府は、義務教育の水準確保と地方財政の安定を図るため、義務教育諸学校の事務職員並びに学校栄養職員にかかる義務教育費国庫負担制度を継続されるよう要望する。

これら事務職員、学校栄養職員は、学校運営上重要な職責を担っており、義務教育費国庫負担制度は、義務教育の水準の維持と均等化及び地方財政の安定のため、国が財源を保障することの趣旨で確立されたものであり、この国庫負担を縮小することは、義務教育の円滑な推進に重大な影響を及ぼすものがある。

よって、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、文部科学大臣、経済財政政策担当大臣、衆議院議長、参議院議長あて提出するよう提出者片野広隆議員、賛成者松岡秀仁議員ほか八名の議員より提出されました。

平成15年度決算 13件を認定

去る二月二十八日開会の市議会第一回定例会において、継続審査となっていた平成十五年

度川越市一般会計歳入歳出決算認定についてなど十一決算及び、平成十五年度川越市水道事業会計決算認定について並びに平成十五年度川越市公共下水道事業会計決算認定については、閉会中に付託された特別委員会で五日間にわたり審査されていまして、今定例会第一日(六月二日)にその審査の経過と結果について委員長報告が行われ、審議の結果、次のように決定いたしました。

平成十五年度川越市一般会計歳入歳出決算認定について
など十三決算

(平成十五年度決算特別委員会に付託) 認定

地域振興ふれあい拠点施設 建設にかかわる川越駅西口 周辺整備対策特別委員会

地域振興ふれあい拠点施設建設にかかわる川越駅西口周辺整備対策特別委員会は、去る二月二十八日開会の市議会第一回定例会閉会后、継続審査となっていた付議事件について、三日間にわたり審査いたしました。今定例会第一日(六月二日)に、その審査の経過と結果について委員長報告が行われ、審議の結果、「継続審査」とすることに決定いたしました。

所属党派等の変更

平成十七年六月一日付で、どの会派にも属していなかった伊藤

請願の審査結果

請願番号	願号	件名	提出者	付託委員	結果
請第3号 (平成16年6月提出)	願号	池袋東口場外車券売場での公営競技主催計画の撤回に関する請願書	池袋東口場外車券売場設置反対連絡協議会代表 森 弘 治	厚生	継続審査
請第1号	願号	義務教育費国庫負担法による制度の現行維持に関する請願書	川越教職員組合(日教組川越)執行委員長 中嶋 篤 史	文教	採 択
請第2号	願号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書	川越市教職員組合(人間教育会館内)執行委員長 小野沢 義 雄 ほか199名	文教	採 択

藤原郎議員が民主党議員団へ入会いたしました。また、六月一日付で、次の会派が会派名を変更いたしました。

(変更前)
民主党議員団
(変更後)
民主無所属クラブ

この変更による市議会各会派の所属議員数は次のとおりです。啓政会十九名、公明党議員団七名、プロジェクト川越21四名、日本共産党川越市議会議員団三名、民主無所属クラブ三名、市民クラブ二名、社会民主党一名、無所属一名